

4年間で学び、成長する「育ちの木」へ

**2024年度 共通教育科目
ガイドブック**

2024

INDEX

P 01 これからの時代を生きる皆さんへ

P 02 共通教育科目 一覧

P 03 コア科目

P 06 人間教育科目の履修について

P 07 人間教育 基礎科目

P 15 人間教育 演習科目

P 25 情報関連科目・言語文化科目・体育関連科目・教職課程科目

P 30 人間力育成 実践科目

ガイドブック略称・表記について

各科目の一覧表の表記について

単位数	数字のみ	講義
	[]	演習
	()	実験・実習及び実技
標準開設年次	◎	通年
	○	前期または後期
	◇	開講期がクラスによって違う
他学年		他学年履修可能(履修者人数等の関係で許可されない場合もある)

免許・資格の略称について

教必	■幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状 必修 ■中学校教諭一種免許状・高校教諭一種免許状 必修 ■栄養教諭一種免許状 必修 ■養護教諭一種免許状 必修
幼教必	■幼稚園教諭一種免許状 必修
公教必	■高等学校教諭一種免許状(公民) 必修
社教必	■中学校教諭一種免許状(社会) 必修
家教必	■中学校教諭一種免許状(家庭)・高等学校教諭一種免許状(家庭) 必修
理教必	■中学校教諭一種免許状(理科)・高等学校教諭一種免許状(理科) 必修
保育士必	■保育士資格 必修
図書必	■図書館司書資格 必修
公心師必	■公認心理師 必修
認定心必	■認定心理士 必修
保育士選	■保育士資格 選択
社教主選	■社会教育主事基礎資格 選択
社福士必	■社会福祉士受験資格 必修
精保必	■精神保健福祉士受験資格 必修
教選必	■幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状 選択必修 ■中学校教諭一種免許状・高校教諭一種免許状 選択必修 ■栄養教諭一種免許状 選択必修 ■養護教諭一種免許状 選択必修
保育士選必	■保育士資格 選択必修

これからの 時代を生きる 皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。東京家政大学は、皆さんが夢に向けてしっかりと歩みはじめられるよう、皆さんの学生生活を支える環境を準備しています。

いま「学生」という言葉を使いました。高等学校までは「生徒」と呼ばれたのではありませんか。「生徒」の時代には、全員が同じ時間に同じ教室に集まって一斉に活動することが多かったでしょう。「学生」になると、行動の選択肢、自由度が増し、一人ひとりが自主的自律的に行動することを求められます。大学4年間での履修計画を立てることもその一つです。

東京家政大学の学部・学科は、それぞれが充実した専門教育科目を用意しています。皆さんもご自分が入学した学部・学科の専門を身につけることを楽しみにしていることと思います。専門の学修を通じて高度な資格を取得できる学科も多くあります。そのような資格取得を目標にしている方も多いでしょう。大学では、専門教育科目の他に、共通教育科目を開設しています。共通教育科目は、文字通り、すべての学科の学生に共通に開講される科目です。専門教育の修得に強い意欲を持つ方の中に、もしかしたら共通教育科目を学ぶ意義を疑問に思う方もあるかもしれません。

(気が早いですが、)卒業し社会に出て、専門や資格を生かして仕事をしている自分を想像してみてください。あなたは一人で仕事をしていますか？おそらく、立場や年齢、国籍、性別、ものの感じ方や考え方の違う人と協力して働いていることでしょう。大学で教わらなかった問題に対して判断を求められることもきっとあります。技術の進歩や社会の変化によって、大学で学んだ専門だけでは通用しなくなることもあるかもしれません。

共通教育科目の履修を通して、学ぶ楽しさを感じ、世界の広さや多様性を知り、ものごととの向き合い方や学び続ける姿勢を身に付けてください。世の中がどう変わっても、思わぬ困難に直面しても、きっと乗り越えられます。

2024年4月1日
東京家政大学学長 井上俊哉

OUTLINE

4年間で、学び、成長する「育ちの木」へ
学びの根幹となる「共通教育科目」一覧



自主自律の 学びと生き方を 考える。

今日、世界は新しい秩序を求めて、大きく変わろうとしています。富める国、貧しい国との貧富の格差の拡大、民族間の問題、環境問題など様々な問題があります。また、国内問題としては、急速に進む、少子高齢化、人口の急減、それともなう、政治、経済、産業など社会構造の変革などがあります。これらの問題を解決するには、柔軟な女性の視点で、地に足のついた細やかな対応がこれまで以上に必要です。そこに豊かな感性、優しさ、きめ細かな配慮のような特性が生かされるとき、平和で豊かな社会の実現につながります。20世紀は、あまりにも物質文明に偏った時代でした。21世紀は人間中心、暮らし中心の時代とならなければと思います。本学はこうした新しい時代を築く、研究、教育、文化の活動拠点として、伝統を生かしながら発展しつづけています。



コア科目が取得を目指す力

コア科目 | 一覧表

区分	科目名	単位数	必選別	標準開設年次				開設学科・専攻																							
				1		2		3		服		環		表		栄		管		児		育		初		英		心		教	
				前	後	前	後	前	後	前	後	美	共	現	養	理	学	支	教	コ	ミ	力	福								
コア科目	スタートアップセミナー自主自律	2	必	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	基礎ゼミナール ※1	2	必	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	キャリアデザイン ※2	2	必				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

〈履修の詳細については学生便覧、時間割表などで確認してください。〉

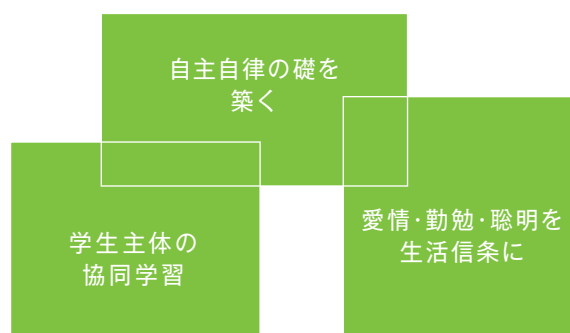
※1 開講期は学科・専攻により異なる

※2 開設年次・開講期は学科・専攻により異なる

スタートアップセミナー 自主自律

私立大学は、それぞれの建学の精神を有しています。東京家政大学の建学の精神は「自主自律」です。自主自律を貫くうえで大切な日々の生き方は、「愛情・勤勉・聡明」という生活信条として表現されています。学部・学科が違えば興味や志向性も異なり、将来の目標も多様でしょう。しかし、学部・学科の違いを超えて、同じ大学で学ぶ仲間たちとともに自主自律の礎を築いてもらいたい。そのような願いのもと、スタートアップセミナー自主自律は、東京家政大学の家政学部・栄養学部・児童学部・人文学部に入学した1年生全員を対象として開講されます。

授業は、様々な学科の学生約5名でグループを作り、学生主体の協同学習で進みます(1クラスは8グループ約40名で構成されます)。最初の授業では、みのりゆたかな協同学習を行うための秘訣を共有します(グループ活動に苦手意識がある人も安心して臨めます)。その後、東京家政大学の歴史から学び、さらに社会に向き合うプロジェクトに取り組みます。14回の授業を終えるころには、東京家政大学生どうしの絆が生まれ、一人ひとりが自主自律の道を歩み始める準備ができています。



ここがポイント!

異なる学科の学生5名程度でチームを作り、目標達成のために互いに協同して学ぶ科目です。学生一人ひとりが主体的に学ぶことを大切にします。上級生がスチューデント・アシスタントとして授業を補助することも、この科目の大事な特徴です。

コア科目

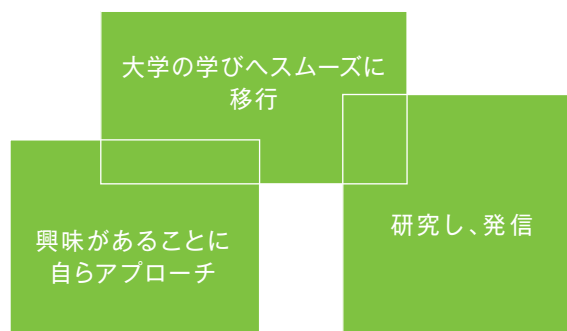
基礎ゼミナール

高校での学びから大学での学びへスムーズに移行することを目的として、東京家政大学板橋キャンパスの家政学部・栄養学部・児童学部・人文学部に入学した1年生全員を対象として基礎ゼミナールが開講されます。

基礎ゼミナールは、スタートアップセミナー自主自律・キャリアデザインとともに共通教育科目のコア科目として位置付けられており、大学での学びの基盤となるものです。

高校までの学びは、どちらかというと受動的に知識を吸収することを求められることが多かったのではないのでしょうか。大学では、学修の目的と意味を考えて、興味のあることにみずからアプローチし、研究し、発信することが求められます。そのため大学の教員はみなさんを同じ目標に向かわせる導き手ではなく、それぞれが描く未来に近づくためのサポーター的な存在であると思ってください。

この授業を通して、聴く・話す・読む・書くことの基礎力を身に付けるとともに、文献の探し方やレポートの書き方等を学んで、みなさんが大学での学びに自主的に取り組むステップとしてください。

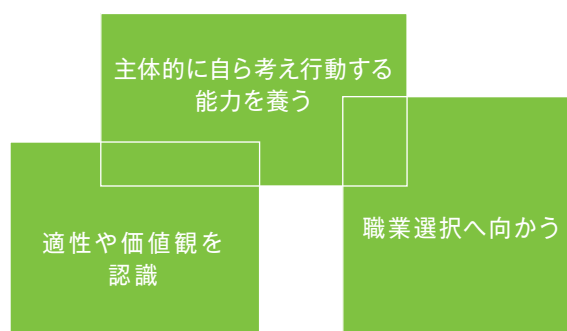


ここがポイント!

みなさんが所属している学科の専門科目もすべて基礎的な学びの延長にあります。また、大学での4年間は社会への架け橋となる重要な期間です。将来へ向けて、充実した大学生活となるよう、学びと生活のあり方を考える機会としてください。

キャリアデザイン

先行きが不透明な21世紀の社会を生き抜くためには、主体的に考え自主的に行動する能力が求められています。そのためには自分が大切にしている価値観を意識することから始まります。そのことが、それぞれの生き方という個性を明確にすることにつながります。みなさんは、この授業を通して、自分の適性や価値観を認識し、職業選択へと向かう積極的な姿勢を養う機会としてください。職業選択の際には、仕事を通して自分が担う役割について、明確なビジョンを持っていることが求められます。そのためにはみなさんが進もうとしている社会や業界の現実を知ることから始まります。社会で活躍している方や卒業生である先輩たちの話を聞いて、求められる社会人像を理解し、実際の就職活動に備えるとともに、現状での自己分析や自分のスキルを確認し、学修へのモチベーションを再確認してください。そして、それぞれの一生を見据えて、自分の生き方や働き方について考え、目標への具体的な道のりを描いてもらいたいと考えています。



ここがポイント!

社会人としての意識を高め、独立したひとりの女性として自主的・自律的な生き方を考え、また社会とのつながりを持ちながら、女性としてのライフサイクルを考えて、職業とプライベート、両方のライフプランを、具体的にイメージする機会としてください。

人間教育科目 | 履修について

- 人間教育基礎科目(以下、基礎科目)は4単位以上(2科目以上)、人間教育演習科目(以下、演習科目)は2単位以上(1科目以上)修得する必要があります。
- 人間教育科目はそれぞれ定員が決められており、抽選方式で履修者を決定します。そのため、受講を希望しても履修できないこともあります。
 - ▶ただし、資格取得に関わる基礎科目については抽選ではなく通常科目と同じ方法で履修登録します。これらの科目は学科ごとに時間割が定められています。
- 抽選によって履修者を決める科目は、木曜日の1・2・3時限に開講されます(メディア授業を除く)。履修希望を出す際は時間割表を十分確認し、学科の専門教育科目と重ならないようにしてください。特に1年生は、前期の「スタートアップセミナー-自主自律」の時間と重ならないように注意してください。
- 抽選で当選した科目の履修取消しは、いかなる理由においても認められません。
- メディア授業において、同一科目に複数の講義コードがある場合はどちらを抽選申請しても差し支えありません。
- 人間教育科目の抽選科目は標準開設年次を1～4年次としています。ただし学科によって推奨する履修年次があります。下の表「人間教育科目(基礎・演習科目)の履修を推奨する年次」を確認してください。
 - ▶表の○がついている以外の年次・開講期でも、専門教育科目と重ならず、CAPの範囲内であれば履修することができます。
- 演習科目は受講者が5名以下の場合は原則として開講しません。
- 詳細については、この他に「学生便覧」「シラバス」「履修ガイド&時間割表」「ポータルの手引き」を参照してください。

〈重要〉

人間教育科目は、一部の基礎科目を除き、抽選によって履修者を決定します。履修登録の手続きが通常と異なるため、必ず「履修ガイド」を参照してください。



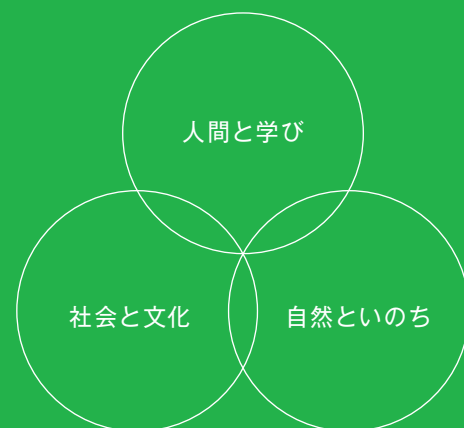
人間教育科目(基礎・演習科目)の履修を推奨する年次

		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
開設学科・専攻	服美	○	○					○	
	環共	○	○	○					
	表現	○			○			○	
	栄養	○						○	○
	管理	○	○						
	児学	○	○					○	
	育支	○	○					○	
	初教	○						○	○
	英コミ	○	○	○					
	心カ	○	○	○					
教福	○	○					○		

教養としての 基礎を 身につける。

人間教育基礎科目は、「人間と学び」「社会と文化」「自然といのち」という3つの領域で構成されています。これらの領域の科目を学ぶことで、教養としての一般基礎力の習得を目指すとともに、自ら学び、生きる力の基礎を身につけることを目指します。また、この中には教育職員免許状や認定心理士、図書館司書などの資格に関する科目も用意されています。

社会で活躍するためには、単に知識を覚えるだけではなく、それらを実践場面で活かす力が求められます。さらに、物事を多角的に捉える視点、問題を客観的に分析する力、多様な価値観に対する理解なども必要となります。人間教育基礎科目は、このような社会で生きていくために必要な教養と基礎力の育成を目的としています。



幅広い教養を身につけて
自ら学び生きる力を育む

人間教育 基礎科目 | 一覧表

4単位以上選択必修

【抽】…抽選対象科目

区分	科目名	単位数	必選別	標準開設年次				開設学科・専攻															
				1		2		3		4		服美	環共	表現	栄養	管理	児学	育支	初教	英コミ	心カ	教福	
				前	後	前	後	前	後	前	後												
人間と学ぶ	【抽】コミュニケーション論入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】子どもの世界	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】芸術論	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】心理学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】哲学	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	心理学概論	2	選	○																			○
コミュニケーション論	2	選	○									○		○							○	○	
社会と文化	【抽】ジェンダー論に学ぶ	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】家政学原論	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】生活経営学	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】多様な社会を生きる	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】ライフデザイン入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】教養としての歴史	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】社会学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】日本事情	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	日本国憲法 ※1	2	選		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	日本の歴史	2	選		○																	○	
	社会学	2	選	○																			○
	【抽】経済学	2	選			○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	家庭経営学	2	選	○						○			○										
	【抽】国際関係論	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
自然といのち	【抽】女性の健康	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】いのちと生活	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】環境共生学	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】統計学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】生命科学	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

履修の詳細については学生便覧、時間割表などで確認してください。授業内容・授業形態の詳細についてはシラバスなどで確認してください。

※1 開設年次・開講期は学科・専攻により異なる

コア科目

人間教育 基礎科目

人間教育 演習科目

情報関連科目・言語文化科目・体育関連科目・教職課程科目

人間力育成 実践科目

人間力育成 実践科目(自主講座)

コミュニケーション論入門

誰もが日常的に、意識することなくコミュニケーションを行っています。でも、コミュニケーションに正解ってあるのでしょうか。TPOに応じた振る舞いはあるとしても、それが唯一無二の正解とはならないでしょう。そこで、先人たちが執り行ってきたコミュニケーションをキー概念とする洞察を学び、眼の前に浮かぶ選択肢を分析・取捨する一助としましょう。

ここがポイント!

主に社会学・心理学的思想を学び、日常におけるコミュニケーションの諸相に対して適切に把握・応答する知見を身につけます。

担当教員 | 今井信治

子どもの世界 ★

保育士選

子ども時代を経て成長した私たちは、その経験をもとに目の前の子どもたちを理解できるでしょうか。高度情報化社会に生まれる子どもたちにとって当り前の「子育て環境」は、大人には前例のない「子育て環境」です。「子どもの世界」にみられる不変性と社会性・時代性を学びながら、子ども時代は人の生涯にどのように位置づけられるかを考えましょう。

ここがポイント!

大人と異なる乳幼児の感覚や認識、生活環境と繋がって形成される「子どもの世界」について学び、子どもへの理解を深めます。

担当教員 | 是澤優子

芸術論

古代から現在に至るまで、音楽、美術、演劇や舞踏等はずねに人間と共にあり、その生活を豊かにしてきました。私たちはなぜ芸術が必要なのか。そしてなぜ芸術活動をするのか。芸術作品を前にしたとき、なにが起こるのか。美術だけではなく、音楽、舞台芸術、文学、映画などの本質にアプローチし、芸術の意味と今日の芸術の意義を考え、能動的鑑賞を学びます。

ここがポイント!

芸術作品に対峙する際に制作・鑑賞双方に必要な能動性を学び、実践に役立てることができます。

担当教員 | 手嶋尚人 / 池宮中夫 / 曾根博美 / 吉野裕之 / 宮田みな美

心理学入門

私たちは、物事を知り、感じて、考えて、行動する生き物です。しかし、この当り前の事実の背後にある「仕組み」については、実は多くのことがまだ明らかになっていません。この授業では、この「仕組み」を、心理学の先人たちがどのように理解しようとしてきたかを勉強していきます。

ここがポイント!

この授業が終わる頃には、自分自身や他者について、少し詳しくなることができます。

担当教員 | 荻島大凱

哲学 ★

公教必

私たちは自分自身のことを知っているのでしょうか?例えばなにかを「楽しい」と思うとき、私たちのなかではなにが起こっているのでしょうか?そう問われると、科学的な知識に頼ってみたいくなりますが、それは自分自身のことを他人目線で理解することにほかなりません。あなたにとって、あなた自身、あなたの生きる世界とはどのようなものなのでしょうか?

ここがポイント!

ぜひ大学生のうちに自分自身や世界のことについてじっくり考えてみましょう。哲学は正しく、そして強く考えるための学問です。

担当教員 | 峯尾幸之介

心理学概論 ★

公心師必 公教必 社福士必 精保必 認定心必

「心」とは、誰もがその存在を確かに感じているにも関わらず、どこか曖昧でつかみどころのないものといえるのかもしれませんが。心理学は、そのような「心」の仕組みや働きについて、科学的方法を駆使しながら考えていく学問領域です。この授業では、心理学の基本的な方法や視点、それらの背後にある歴史やロジックについて理解することを目標にしていきます。

ここがポイント!

心理学のロジックに触れることを通して、人間行動の意味を多角的に理解し、主体的かつ論理的に物事を考える視点を養います。

担当教員 | 野田亜由美

コミュニケーション論 ★

社教主選 図書必

誰もが日常的に、意識することなくコミュニケーションを行っています。でも、コミュニケーションに正解があるのでしょうか。TPOに応じた振る舞いはあるとしても、それが唯一無二の正解とはならないでしょう。そこで、先人たちが執り行ってきたコミュニケーションをキー概念とする洞察を学び、眼の前に浮かぶ選択肢を分析・取捨する一助としましょう。

ここがポイント!

主に社会学・心理学的思想を学び、日常におけるコミュニケーションの諸相に対して適切に把握・応答する知見を身につけます。

担当教員 | 今井信治

ジェンダー論に学ぶ

ジェンダーとは、社会や文化によって決められる男女の行動・習慣・意識等を差す言葉です。私たちの生活はジェンダー概念と深い関わりを持っています。本講義では、教育、就労、家族、パートナーシップ、ケア等、身近なテーマを取り上げ、私たちが生きる社会や文化のあり方についてジェンダーの視点から考察します。

ここがポイント!

講義を通して、日常に溢れる「当たり前」をジェンダーの視点で問い直し、自分とは異なる捉え方・考え方への理解を深めましょう。

担当教員 | 青木由香

家政学原論

家政学とは、家庭生活を中心とした人間生活と環境との相互作用について研究し、その発展に資する学問です。「家政学原論」では、その内容や歴史、日常生活や社会に対する家政学的なものの見方について、幅広く学びます。当たり前だと思われる日常にも、研究対象となる学びはたくさんあることが理解できると思います。

ここがポイント!

東京家政大で学ぶ皆さん、ぜひ家政学の考え方やものの見方を学びましょう。日常生活を科学してみませんか。

担当教員 | 野崎有以

生活経営学 ★

保育士選

生活経営学は、家政学の一領域です。私たちの生活をいかに創り上げて行くかということ、利己的立場だけではなく社会の持続可能性を考慮して考えます。私たちの生活は、家族・経済・環境・情報・福祉等多くの側面と切り離すことはできません。それらを踏まえ、これから私たちが自分の暮らしを主体的に考えて行けるようなきっかけとなる科目です。

ここがポイント!

私たちの生活を主体的に創り上げて行くために必要な知識を、身近なことから勉強します。

担当教員 | 光畑由佳

多様な社会を生きる

この講座では「多様」な社会における公平、マイノリティ課題とは何かを考えていきます。対人援助の実践上、多様な社会における人権課題の基礎的知識と意識を持つことは重要です。無意識下で起こっている差別について考えていきましょう。現代日本社会におけるダイバーシティについて、日常生活事例から話し、具体的な多様な社会を生きる実践へと繋げていきます。

ここがポイント!

セクシュアリティ、在日外国人の在留、障害の有無に関わる課題を、より身近なこととして捉えていきましょう。

担当教員 | 渡邊さゆり

ライフデザイン入門

ライフデザインとは、理想とする人生の夢や目標をいつどのような形で実現させていくかを積極的に計画することです。この授業では、社会で活躍する卒業生を幅広くゲストスピーカーとしてお招きします。年代の異なる先輩方が歩んできた人生と学びに触れ、刺激を受けながら、自身の姿勢を見つめ直し、今後の目標を定め、この達成に向けた計画立案ができることを目指します。

ここがポイント!

時は異なりますが、本学の建学の精神と生活信条のもとで学んできた先輩方のお話に耳を傾けながら、現段階における自分の生き方と目標について考えてみましょう。

担当教員 | 塩入輝恵 / 大塚有里

教養としての歴史

「暗記が苦手な歴史が嫌い」という人が多いのではないのでしょうか。本講義では、歴史をめぐる「常識」を常に疑問視し、歴史的にモノを考えるとはどういうことかの理解や、日本・世界の歴史について学びます。その素材として、地域に残る史資料も活用し、大衆心理や女性史・社会史等を加味した授業を展開します。気づきを楽しみながら、教養を広げていきましょう。

ここがポイント!

小学校教諭・学芸員・公務員等、将来、教育や地域に関わる職を志望する者には特に参考になるでしょう。ぜひ受講してください。

担当教員 | 中尾浩康

社会学入門

本講義では、社会学理論を中心に社会的想像力、社会構造、文化、ネットワーク、権力、機能、社会的相互作用、地位と役割などの社会学の基本的な概念について学びます。そして、皆さんが日常生活で経験する身近な社会現象をどのように理解するのか、すなわち、個人的な経験がどのようにして社会過程によって作られるのかについて学習します。

ここがポイント!

私たちが日常生活で経験する個人的な出来事を社会的な視点で読み解く力を身につけたい学生はぜひ受講して下さい!

担当教員 | 李命姫

日本事情

日本には300万人を超える外国人が住んでおり、外国人との共生の時代と言われています。「日本事情」の授業では日本の社会、歴史、地理、文化、政治、経済等についての包括的な知識を、ハンドアウト、テレビ、新聞などを通して身につけます。そして、身につけた知識は、留学生や日本に住む外国人とコミュニケーションをとる際に有用で、社会比較の議論が出来るようになります。

ここがポイント!

教材を通してdiscussionを行います。日本について正確に伝えられる国際人になる事を目指します。

担当教員 | 鈴木繁幸

日本国憲法 ★

教必 保育士選

日本国憲法をその成立の経緯からはじめ、象徴天皇制、戦争放棄などをまず理解し、中心的内容である基本的人権を講義します。現代において、自己決定権、環境権、プライバシーの権利などの新しい権利も生まれているので、これらをできるだけ具体的な事例に基づいて考えます。討論も数回行いたい。自由な討論も基礎には、法的に確立した原理があると分かるように憲法の学習をすすめます。

ここがポイント!

日本国憲法の国民主権、平和主義、基本的人権の尊重などが、我々の日常生活でどのように生かされているのかが分かるようにします。

担当教員 | 竹嶋千穂 / 村山貴子

日本の歴史 ★

社教必

「暗記が苦手な歴史が嫌い」という人が多いのではないのでしょうか。本講義では、歴史をめぐる「常識」を常に疑問視し、歴史的にモノを考えるとはどういうことかの理解や、日本社会の諸相・実相を掘り下げて学んでいきます。地域に残る史資料も活用し、大衆心理や女性史・社会史等も加味した授業を展開する予定です。歴史を学ぶと現代社会も見えてきますよ。

ここがポイント!

中学社会科教諭・学芸員・公務員等、将来、教育や地域に関わる職を志望する者には特に参考になるでしょう。ぜひ受講してください。

担当教員 | 中尾浩康

社会学 ★

社教必 公教必 社福士必 精保必

社会学は、「近代」と呼ばれる時代に、西欧の人びとが「社会」という個人を超えた謎の〈力〉の存在に気づいたことから始まりました。「社会」というものがよくわからないという認識が、社会学の出発点です。この授業では身近なトピックを素材にしつつ、社会学の理論や学説について講義し、社会学の思考法を皆さんに学んでいただきたいと思います。

ここがポイント!

今私たちの目の前にある「社会」や「日常」の形が全てではないという認識を持ち、授業に臨んでください。

担当教員 | 佐藤裕亮

経済学 ★

社教必 公教必

経済学は現実の経済社会を分析対象とします。市場における需要と供給を取上げ、価格や取引量が決定される過程を明らかにします。こうした市場の機能に加えて、現実の市場で生じる諸課題を取上げ、経済政策や政府の役割を検討します。身の回りの行動が経済現象に関わっていることを認識し、経済的な視点を持つ重要性を理解します。

ここがポイント!

市場の活動を通して、資源の効率的な配分が達成されることを理解するとともに、政府や経済政策の役割を理解します。

担当教員 | カ シュウコウ/呉東錫(オ ドンソク)

家庭経営学 ★

家教必

家庭経営学は、家政学の一領域です。私たちの生活をいかに創り上げて行くかということ、利己の立場だけではなく社会の持続可能性を考慮して考えます。家庭は、家族・経済・環境・情報・福祉等多くの側面と切り離すことはできません。それらを踏まえ、これから私たちが自分の暮らしを主体的に考えて行けるようなきっかけとなる科目です。

ここがポイント!

私たちの生活を主体的に創り上げて行くために必要な知識を、身近なことから勉強します。

担当教員 | 平野順子

国際関係論

この授業では、国際社会における様々な事象について特定の領域に限定せずに、様々な分野と関連して幅広く学んでいきます。国際社会の歴史や文化、国際機構及び多国籍企業等の事例を通して国際関係の基礎的事項にアプローチしていきます。国際関係について学習することで、多種多様な見方や考え方を受け止め、国際社会のあり方やお互いの違いを認め合う大切さを理解することについて考えていきましょう。

ここがポイント!

国際関係の基礎知識を通して、視野や見方を広げ、多種多様なニーズに応えられる素地を身につけていきましょう。

担当教員 | 五十嵐淳子

人間教育 基礎科目 >>> 自然といのち

女性の健康

女性が生き生きと自分らしく、自らのベストパフォーマンスを発揮して生きていくことができるように、心身の健康について学びます。授業のテーマは多岐にわたり、疾病についての知識はもちろん、ヨガなどの統合医学、労働環境の問題なども取り上げます。この科目で身につけた力を自らの健康に活かすと同時に、周囲の大切な人の健康にも役立ててくれることを期待しています。

ここがポイント!

自分の体調の変化や悩みを、自分でしっかり把握して、必要な時には専門家のアドバイスを受けることができるようになります。

担当教員 | 佐藤加代子 / 梅谷千代子 / 太田大介

いのちと生活

いのちと生活の授業では、科学的視点で、原子レベルから分子、細胞、組織、個体、地球レベルまで、さまざまな階層で“生物(生命)”について考えていきます。特に我々ヒトを含む哺乳類における脳の発生・発達メカニズムについて深く学ぶことで、脳の可塑性(柔軟さ)について考えていきます。また、地球上のさまざまな地域で生活する生物(生命)について学ぶことで、SDGs(Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標)についても考えていきます。

ここがポイント!

生きているということは、奇跡のような現象の連なりです。いのちの大切さを自覚し、生涯を通じた健康の維持・増進について実践していくことができるとともに、人にも伝えることもできるようになります。

担当教員 | 林恵子

環境共生学

20世紀後半、高度経済成長とともに発生した環境問題は、いまや地球全体のエコロジー危機にまで拡大し深刻化しています。そうしたなかで、人間社会と自然環境を一体的に捉えようとする様々な試みが展開しつつあります。循環型社会や持続可能な社会などといった具体的なテーマを取り上げながら、21世紀にふさわしい環境調和的で自然共生的なあり方を考えます。

ここがポイント!

環境問題の現状や歴史的経緯を知り、環境と調和し自然と共生する人間の営みへ向けて多元的に思考し判断することをめざします。

担当教員 | 布施元

統計学入門

IoT(モノのインターネット)を担うスマート機器が身近に浸透し、生成AIの活用も進展している現代において、私たちを取り巻く様々な情報が「データ」として活用される機会が世界的に広がっています。そうした「データ」を適切に活用するため、統計学的な思考やデータ処理の知識とスキルが求められています。本授業は統計学の基本を勉強することで、現代社会を生き抜く糧を得ることを目的にします。

ここがポイント!

高等学校の数学で学習する範囲の復習をしつつ、より広い観点で「データ」を扱う方法や解釈する視点を解説していきます。

担当教員 | 上田卓司

生命科学 ★

理教必(管理のみ)

我々は、生活の中で生命科学に関する様々な問題に直面します。それらを理解・解決するためには、生命科学の基礎知識が不可欠です。細菌からヒトまで、遺伝子、細胞、代謝、遺伝などのキーワードを軸に生命科学の基礎を学び、生命現象の神秘、普遍性や多様性に触れてください。また、習得した知識をもとに、社会で起こる生命科学に関連する問題を考える機会にしましょう。

ここがポイント!

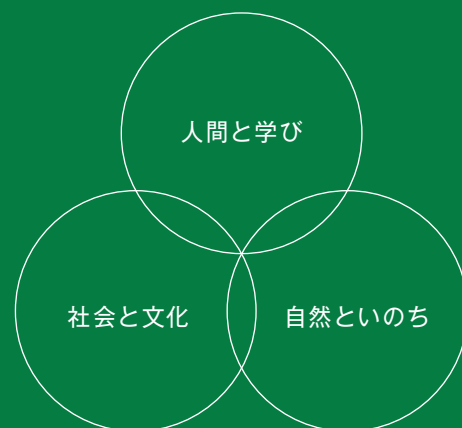
ヒトと関係の深い生命科学の基礎知識を学び、ニュースなどで取り上げられる生命現象に関する話題を理解することを目指します。

担当教員 | 廣田恵子

主体的な 学びを实践する ために。

人間教育演習科目は、人間教育基礎科目と同様に「人間と学び」「社会と文化」「自然といのち」の3領域で構成されています。この科目は、主体的な学びを实践するためにアクティブラーニングを取り入れています。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、模擬実験・調査など、主体的・能動的な授業への参加を通して、内容を深く理解するとともに、「自ら学ぶ」という姿勢を身につけることを目指します。

現代社会では、主体的に課題を発見し、それについて考え行動する力や、他者とかかわり、議論や協働を通して新たなものを創り出していく力がますます重要になってきています。人間教育演習科目は、このような社会人として生きていくための普遍的な力の育成を目的としています。



主体的な学びを通して
生きる力を育む

人間教育 演習科目 | 一覧表

2単位以上選択必修

【抽】…抽選対象科目

区分	科目名／講座名	単位数	必選別	標準開設年次				開設学科・専攻																
				1		2		3		4		服美	環共	表現	栄養	管理	児学	育支	初教	英コミ	心力	教福		
				前	後	前	後	前	後	前	後													
人間と学び	【抽】 A 心と行動の科学	2	選				○																	
	【抽】 B 食育のすすめ	2	選				○																	
	【抽】 C 文学と人間	2	選				○																	
	【抽】 D 子どもと芸術をめぐって	2	選				○																	
	【抽】 E しなやかな心とからだ	2	選				○																	
	【抽】 F 美しい文章の書き方	2	選				○																	
	【抽】 G たしかな暮らしに学ぶ	2	選				○																	
	【抽】 H 手話に学ぶ	2	選				○																	
	【抽】 I 対人関係の心理学	2	選				○																	
	【抽】 J 生老病死とケア	2	選				○																	
	【抽】 K 学び方を学ぶ	2	選				○																	
【抽】 L 心のレジリエンス	2	選				○																		
人間教育演習科目 社会と文化	【抽】 A 対人ケア職における英語と異文化コミュニケーション	2	選				○																	
	【抽】 B 世界のことばと事情	2	選				○																	
	【抽】 C 多様性を考える	2	選				○																	
	【抽】 D 「地球の旅」身体文化に着目して	2	選				○																	
	【抽】 E 情報社会とライフスタイル	2	選				○																	
	【抽】 F 共生社会を生きる-インクルージョン	2	選				○																	
	【抽】 G 国の仕組み・社会の制度	2	選				○																	
	【抽】 H 世界の宗教と社会を知る	2	選				○																	
	【抽】 I 人類の多様な文化	2	選				○																	
	【抽】 J 日本人と日本文化	2	選				○																	
	【抽】 K まちづくりと起業のススメ	2	選				○																	
【抽】 L SDGs入門:17の目標から学ぶサステナビリティ	2	選				○																		
【抽】 M サブカルチャから見る日本	2	選				○																		
【抽】 N メディア情報と社会を読み解く	2	選				○																		
【抽】 O 世界の動きと私たちの暮らし	2	選				○																		
自然といのち	【抽】 A 社会とエネルギー	2	選				○																	
	【抽】 B 身近な自然に学ぶ	2	選				○																	
	【抽】 C 自然と倫理	2	選				○																	
	【抽】 D 自然と災害	2	選				○																	
	【抽】 E 生態系と生物多様性	2	選				○																	
	【抽】 F 科学の歴史	2	選				○																	
	【抽】 G ロボットと人工知能	2	選				○																	
	【抽】 H 脳科学に学ぶ	2	選				○																	

履修の詳細については学生便覧、時間割表などで確認してください。授業内容・授業形態の詳細についてはシラバスなどで確認してください。

コア科目

人間教育 基礎科目

人間教育 演習科目

情報関連科目・言語文化科目・体育関連科目・教職課程科目

人間力育成 実践科目

人間力育成 実践科目(自主講座)

A 心と行動の科学

知覚、記憶、思考、学習、他者の影響などに関する心理学の基礎知識を学び、日常における人の行動について考察します。私たちの記憶は正確か、どうしたらうっかりミスを減らせるか、行動を変えるためにどんな工夫ができるか、なぜ迷信を信じてしまうのかなどのお話を取り上げ、これらに関する心理学の知見を学び、人間行動への理解を深めていきます。

ここがポイント!

授業中に簡単な実験や調査、ワークなどを実施し、日常の行動について考えながら心理学の基礎知識を学びます。

担当教員 | 佐藤隆弘

B 食育のすすめ

食育とは「人をよく育て、生きる力を養う教育」であり、全世代が対象ですが、特に幼児期から青年期にかけての食育が重要とされています。生きる基本である「食」のあり方について、自らの食歴を「振り返り」、食に関わる様々な因果関係に「気づき」、食育のニーズについて「考え」、食の行動変容までの過程を「企画」し、「実践」するまでに一連の流れを学びます。

ここがポイント!

食育の現場で活躍する卒業生をはじめ、農業女子、エコロジスト等をゲストスピーカーに迎えたオムニバス形式で展開します。

担当教員 | 内野美恵 / 相澤菜穂子

C 文学と人間

現実はあるあなたの「ことば」によって作られると言われたらびっくりしますか? そうであれば、物語を読むことは作品の世界に入り込んで楽しむだけではなく、自分自身の物語を作ることにもなります。小説やファンタジーの主人公の物語がどのように語られているのか読み解く方法を学び、自分の物語として考える方法を学ぶことで、文学と人間とのかかわりについて考えます。

ここがポイント!

子どもは純粋なのか残酷なのか、時代によって考え方が異なることを、小説、ファンタジー、映画を通して読み解く方法を学びます。

担当教員 | 向井秀忠

D 子どもと芸術をめぐって

芸術は人にエネルギーを与えます。この講義では、人の成長に造形表現・芸術がどのような関わりを持ち、その役割を果たすかについて、複数の講師の経験をもとに実践例等で学んでいきます。前期の授業では、主に小学生期の関わりについて、後期の授業では乳幼児期の関わりについて学びます。どちらかを選択してください。

ここがポイント!

子どもの成長に芸術の面で関わっている先生方に、様々な視点からその意義について講義してもらいます。

担当教員 | 前期: 結城孝雄 / 細田淳子 / 居上真人 / 濱口由美
後期: 手嶋尚人 / 金山和彦 / 伊藤史子 / 栗山由加 / 松澤綾子

E しなやかな心とからだ

本講座では、人と人とのつながりをとりもつバーバル・コミュニケーション(ことば)とノンバーバル・コミュニケーション(ことばならざることば)に着目し、その役割や有効性といったものをプレイ、ムーブメント、ドラマ、ソングといった表現活動から体感するとともに、芸術的活動が心身の成長や他者とのコミュニケーションに及ぼす創造的作用について体験的実証的に考えていく。

ここがポイント!

しなやかな心とからだを涵養するための知見と方略を、3人の講師によるワークショップを通して探究します。

担当教員 | 花輪充 / 吉村温子 / 鴨志田加奈

人間教育 演習科目 >>> 人間と学び

F 美しい文章の書き方

美しい文章とは、華美な装飾を施した文章のことではありません。執筆の目的や論理が明確で、書き手の思いや考えが読み手に的確に伝わる文章のことであると考えます。自分の意見や情報を効果的に伝達する力を養うとともに、わかりやすい文章を作成するための基礎を学んでいきましょう。自己PR、敬語を用いた手紙、論理的な文章による小論文等を書き、文章表現の知識と技術を履修者間で共有します。

ここがポイント!

文章表現に関する知識と技術を身に付けることができます。誰もが美しい文章を書けるようになりますので、じっくりと取り組んでいきましょう。

担当教員 | 渡邊 重人

G たしかな暮らしに学ぶ

日常の暮らしの中で忘れられつつある大切な生活様式・考え方を、衣食住の3つのテーマから再発見し、現在の暮らしにどう活かせるかを考えていきます。衣食住をそれぞれ専門とする3人の先生によるオムニバス形式の授業です。衣はゆかたの着付け、食は出汁からつくる味噌汁、住は古民家見学といった体験的な授業として実施します。7月の日曜日には古民家見学を予定。

ここがポイント!

3人の先生による暮らしを考える多角的総合的授業です。現代の自分たちの暮らしを今一度見つめ直してみよう。

担当教員 | 手嶋尚人 / 加藤 和子 / 金子真希

H 手話に学ぶ

「日本手話」は、皆さんが日ごろ話している日本語とは異なる体系をもった言語です。文法的な働きをもつ顔の表情や視線などで発せられたメッセージを目(視覚)で受け取る「視覚言語」です。音声とは違ったコミュニケーション様式(モード)に慣れ、ろう文化に接することで、多文化共生社会の一員として日本手話を少しでも話せるようになることを目指します。

ここがポイント!

手話の様式(モード)に慣れ、コミュニケーションを円滑にすすめるための手だて(ストラテジー)を身につけられるようにします。

担当教員 | 村越啓子 / 和田 令子

I 対人関係の心理学

社会生活を営むうえで、人は少なからず他者との関係を持つこととなります。良い人間関係は生活を豊かにし、上手いかない人間関係は大きなストレス源となってしまいます。対人関係は個人の心理的健康と深くかかわってきます。本科目では、対人関係に影響を与える心理学的な視点に基づく知識と技能を学んでいきます。

ここがポイント!

対人関係について心理学的な視点に基づいて知識を身につけ、体験を通して対人関係に関するスキルの活用を目指します。

担当教員 | 亀田 秀子

J 生老病死とケア

老いることも死ぬことも、人間という儂い生き物の美しさです。また私たちは独りで生きているのではなく、他者たちと共に、ケアケアされる関係を生きています。本授業では、大学生の心身問題から話を始め、哲学と宗教における自己、他者、世界についての考えを学び、現代社会で直面する具体的な問題を解決していくための実践的な力を身につけることを目指します。

ここがポイント!

哲学や宗教、思想に関心をもち、現代社会の諸問題に幅広く関心を持ち、それらについてグループワークを通じて話し合うことができます。

担当教員 | 中山 純一

【K】 学び方を学ぶ

学ぶこと=学習は、学校だけでなく私たちの生き方と深く関り、時代とともに大きく変わってきています。従来の知識・スキルを「蓄積する学び」から、「活用する学び」への大転換が世界中で実践されています。従来の学習観を経験と理論から振り返り、21世紀型の学習観の現在を確かめることで、これからの自分の学び方を再確認し、構築する内容です。

ここがポイント!

学ぶ意味を考え、自分自身を成長させていく視点が持てる授業です。教職志望者には、従来の学習観と21世紀型の学習観の差異を知る内容でもあります。

担当教員 | 結城孝雄

【L】 心のレジリエンス

レジリエンスとは、人が落ち込みから回復する力や、逆境の中で適応できる力を表す概念です。レジリエンスの研究や測定方法を学び、レジリエンスを促進するための介入技法について体験的に学びます。自らのレジリエンスの理解、および個々人のレジリエンスの多様性について理解したうえで、実際に身近な他者のレジリエンスを理解することを目指します。

ここがポイント!

レジリエンスの概念およびその多様性を体験的に理解し、自分自身の心や他者の心の理解に応用することができます。

担当教員 | 平野真理

人間教育 演習科目 >>> 社会と文化

A 対人ケア職における英語と異文化コミュニケーション

医療・看護・介護・保育・教職・児童支援などの対人コミュニケーションが発生するケアの場面において、適切なコミュニケーションを果たし、また文化的な相違に留意して国際的なキャリアを築くための英語とその背景を学び、英語力とコミュニケーション力を向上させることを目標とします。具体例に基づくディスカッションを通し、日常の中にある異文化理解を学びます。

ここがポイント!

国際化していく対人ケア職の現場において、文化差異についての理解は必須です。「伝わる」ケアを手に入れましょう。

担当教員 | 並木有希

B 世界のことばと事情

この講座では世界の主要な言語と文化に関してその諸特徴を概観できるようになります。元大使夫人や海外生活の長い文化人、また多言語話者をゲストスピーカーとして招き、日本と当該国の生活習慣や制度上の違い、言語や価値観、コミュニケーション形態の違いなどに関する講義を聞く事を通して、主体的、能動的に、より深く世界を知ろうとする知的好奇心を喚起していきます。

ここがポイント!

多文化・多言語への深い理解を目指す態度の育成を図り物事の有り様を見定める際の観察眼、思考力を養う事ができるようになります。

担当教員 | 酒井藤恵

C 多様性を考える

「異なり」を持つ者が社会で共存する時に生じる衝突について学びます。ぶつかりが新たな生活力とならず、排他的暴力として作用している現実と歴史をたどります。ジェンダー、セクシュアリティ、経済格差、地域、国籍、在留状況、年齢、これらをめぐる差別に抗う人びとの働きを学びます。共生社会に向けた多様性を耕し、視座の転換へと促されていきたいと思えます。

ここがポイント!

カラフルな社会に気づいてますか?すでに多様な社会に生きている中でマイノリティ当事者の声に耳を傾けていきましょう。

担当教員 | 渡邊さゆり

D 「地球の旅」身体文化に着目して

いろいろな国や地域をバーチャルトリップします。スポーツや舞踊、しぐさや身振りなど身体に関わる文化を手懸りに比較考察し、共通点や相違点に気づき、民族衣装から風土や習慣が、民族舞踊から歴史や生活が見えるでしょう。習得した視座から自分の尺度で異文化の理解を図ります。日本の舞踊、しぐさ、表現法などの特徴についての知識も深めます。

ここがポイント!

色々な国や地域に関して知識が深まり、価値観の違う文化に遭遇しても、お互いを尊重したコミュニケーションがとれます。

担当教員 | 梅谷千代子

E 情報社会とライフスタイル

社会の変化を表すキーワードとしてSociety 5.0があります。また、人々に多様な考えをもたらしているベースとなるものに持続可能な開発目標(SDGs)があります。Society 5.0とSDGsをキーワードとして、私たちのライフスタイルに変化をもたらしている、社会変化と人々の考え方の多様化について、学びます。

ここがポイント!

Society5.0と呼ばれる情報社会が向かう社会、SDGsへの取組を通して持続可能な社会の構築を意識した生活・ライフスタイルについて説明することができます。

担当教員 | 新関隆 / 大井龍 / 片田真一

F 共生社会を生きる - インクルージョン

共生社会(インクルージョン)とは、多様な人々がそれぞれの個性を生かしながら共に生きること。現実にある差別や偏見、貧困、虐待など不利益や生きづらさを知り、私たちにできることは何か、一緒に考えていきたいと思えます。国連『持続可能な開発目標(SDGs)』を意識し、「Leave no one behind(誰一人取り残さない)」活動として前期は多分野、後期は障害に焦点を当てます。

ここがポイント!

現代社会に生じている様々な「生きづらさ」について理解し、その解決に向けて自らの意見を考え、述べるすることができます。

担当教員 | 田中恵美子/小島直子

G 国の仕組み・社会の制度

国際的な視点から、国の仕組みと社会の制度について学びます。「歴史」については、「ベルリンの壁」と人権、日米関係と平和に関する問題、「時事問題」については、日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジアに関する動向、そして「社会の制度」については、政党、選挙、移民、社会保障、年金制度、都市化、高齢化、少子化に関する課題について、それぞれ学びます。

ここがポイント!

国の仕組みと社会の制度について学び、現代社会の特徴と課題について独自の視点から説明することができます。

担当教員 | 清水聡

H 世界の宗教と社会を知る

宗教、という語を耳にすると、現代の日本人の多くが身構えてしまうかもしれません。しかし、社会のあり方の数だけ、それに応じた宗教(的なもの)が存在していると考えるとき、様々な宗教や、宗教にまつわるキーワードについて理解しようと努める試みの意義は決して小さくないでしょう。本講座では「宗教学」の客観的な視点とともに、世界の宗教文化を検討します。

ここがポイント!

社会における宗教の様相と概要について知り、多様な文化における人々と宗教の関係について、比較しつつ学びます。

担当教員 | 中島和歌子

I 人類の多様な文化

世界各地の多様な文化を、講義と映像から学びます。人類はそれぞれの環境の中で、より良く生きるための経験や知恵を文化として育んできました。異なる文化は他者には奇異に映るかもしれませんが、当事者の立場で捉えれば、自然なものです。信仰、神話、儀礼など毎回のテーマを変えながら、他者への理解を深め、柔軟な思考を養うとともに、人間の本質を探究していきます。

ここがポイント!

様々な文化を比較の視座から学び、それらの違いから、自身のアイデンティティを再確認し、物事を客観的に捉える視野を養います。

担当教員 | 高橋孝代

J 日本人と日本文化

国際化が進む現在において、自国の文化を知ることが、自分自身のルーツを知ることであり、他国の文化を尊重する基本です。長年に渡り我が国で育まれた文化は、現代日本の様々な文化の基になっており、気づかぬところで我々の生活を豊かなものにしていきます。絵巻・物語・祭・宗教・年中行事・遊楽を通じて、日本文化を自ら考える、体験することを学びます。

ここがポイント!

日本文化の特色について、基本的な知識を身につけ、日本文化を自らの言葉で説明し、多くの人に向けて発信する力を付けることができます。

担当教員 | 小谷量子

人間教育 演習科目 >>> 社会と文化

| K まちづくりと起業のススメ

まちづくりとは、まちの資源を活用し、まちの課題を解決したり、まちの価値を創出したりする活動のこと。また、起業とは意外と身近なもので、日々の暮らしのなかにたくさんの芽があり、そして日々の暮らしを豊かに育むもの。本講座では、とくにNPO・市民主体のまちづくりに着目し、今後のまちづくりについて考えるとともに、まちづくりにおける起業について学びます。

ここがポイント!

よりよいまちのあり方を模索していくための視点を身につけ、そうした視点で自身の生活を捉え直していくことを実践していきます。

担当教員 | 吉野裕之

| L SDGs入門:17の目標から学ぶサステナビリティ

SDGsの17の目標を詳しく学びながら、グローバルな視点から社会の課題に目を向け、解決への糸口を探ります。この授業を通して、それら諸問題についての理解を深めるとともに、柔軟な思考力と実践的なアプローチで問題解決の方法を学びます。SDGsの基礎知識を身につけ、現実の社会問題に向き合いながら、持続可能な未来への行動を考えます。

ここがポイント!

SDGsを深く学ぶことで現実の社会課題に対して実践的な解決策を探り、将来のキャリアに役立つ知識を得ることを目指します。

担当教員 | 井上宮雄 / 池田壽文 / 片田真一

| M サブカルチャから見る日本

海外から見たとき、現代の日本文化を代表するものは何でしょうか。アニメ?マンガ?それともラーメン?日本の文化のフロントランナーは、今やサブカルチャであるかのように見えます。若者世代の文化を超え、国際市場にも進出した日本のサブカルチャをめぐる、食からクラブまで<カルチャ>全般に精通し、海外体験も豊富な講師が、新しい視点を紹介します。

ここがポイント!

マンガ、映画、音楽などを通じて異なるバックグラウンドの人とも交流できる、さまざまなものの見方を身につけます。

担当教員 | 曾根博美 / 湯山玲子 / 吉岡洋美

| N メディア情報と社会を読み解く

現代社会を生きる私たちは、日々多様なメディアと関わりながら、生活をしています。この講義では、インターネット、SNS、テレビ、広告という4つのメディアに関する実際の事象をとりあげ、各事象の背後にあるメディアの特徴や人間の心理・行動について、社会心理学等の知見を援用しながら、グループワークを通して考えていきます。

ここがポイント!

メディアを介した情報を適切に理解する力や、メディアにまつわる社会現象を読み解く力を高めていきます。

担当教員 | 天野美穂子

| O 世界の動きと私たちの暮らし

大航海時代、私たちの暮らしを変えるグローバル化はじまったとされます。それは産業革命を経て、21世紀の今日、国際経済を中心に世界の動きに影響を与えています。新しい格差、インターネットとコミュニケーション、航空産業と人々の移動は、私たちの暮らしの風景をどのように変えるのでしょうか?グローバル化と日本との関係について学びます。

ここがポイント!

国際社会や国際経済の視点から、グローバル化と世界、さらには、昭和、平成、令和へと至る日本の歩みについて学びます。

担当教員 | 清水聡

A 社会とエネルギー

環境活動家のグレタ・トゥーンベリさんの話題が大きく取り上げられるなど、持続可能なエネルギー確保・環境保全是、これまで以上にわれわれの社会の大きな課題です。経済発展との両立がその課題であることを意識し、エネルギーに関わる社会背景から最新デバイスまで、双方向コミュニケーションによる全員参加型の議論をしていきます。

ここがポイント！

人類の運命に関わるエネルギー課題に対して、総合的な視点で理解を深めましょう。理科科目が苦手な方も歓迎です。

担当教員 | 向山大吉 / 奈良洋希

B 身近な自然に学ぶ

暮らしの中に多くの自然があります。しかし、意外と身近にある自然に目をとめたり、それを目で楽しむ余裕がありません。そこで、この授業では、板橋キャンパスをフィールドに、自然と触れる遊びを通して自然を感じるとともに、キャンパス内の自然を把握し自然環境マップを製作します。さらに、それらで得た知識を基に、キャンパスの自然をめぐる情報を紹介する動画を作ります。これらの活動を通して、身近にある自然を発見して、めでもられるようになりましょう！

ここがポイント！

グループワークを通して多面的に自然と触れ合います。フィールドワークを行い発見したことを視覚化します。

担当教員 | 佐藤康富

C 自然と倫理

現代社会は、自然に対して大きな影響を及ぼす一方で、自然から大きな恩恵を受けています。人類は人類のために自然を利用し、また人類のために人類を利用しています。そこには様々な観点から高い倫理観が求められます。講義では、豊かな人間性を養い、幅広い視点を獲得するために、倫理について多面的に理解し、倫理的な課題について自ら考えることを求めます。

ここがポイント！

自然科学を学ぶにあたり関連する倫理的な事柄について、基本的な知識を身につけ、基本的な問題について自らの言葉で説明できます。

担当教員 | 関口雄祐

D 自然と災害

人間と自然とのかかわり方について、「自然災害」をテーマに追究していきます。日本は地震、火山、台風など世界的にみても自然災害が最も多い国の一つです。この自然災害の要因を自然環境(地形環境と気候環境)の側面から考察していきます。また、地図や映像判読の授業を通じ、災害予測や被害想定などのスキルを身につけ、災害適応力を育むことを目的としています。

ここがポイント！

講座のイメージは(地理+地学)÷2です。その他、災害適応力を身につけるために、大学周辺のフィールドワークを実施します。

担当教員 | 小関勇次

E 生態系と生物多様性

環境問題、生物多様性、生態系、保全・・・頻繁に耳にする単語ですが、それぞれの意味や成り立ちをきちんと理解しているでしょうか？一言に“自然”といっても不変ではなく、これまでもこれからも、生物同士や生物と環境との関わりの中で変化しています。生態系や生物多様性について、生物の進化や絶滅、生物と環境との関りから学びます。

ここがポイント！

環境問題への対策が求められる現代。“考える”にはまず“知る”ことが重要です。理科や生物が苦手でも歓迎です。

担当教員 | 山科千里

F 科学の歴史

人類は科学という営みによって、世界の様々な事柄を明らかにしてきました。科学は、その理論を生み出した科学者個人に閉じた活動では決してなく、私たち人間社会と深く関わる活動でもあります。この講義では、古代から現代に至るまでの科学の歴史を、科学を取り巻く社会や、科学と関わりの深い技術との接点にも着目しながら概観します。

ここがポイント!

科学という営みの歴史を、それを取り巻く社会との関わりの中で理解し、科学と社会の未来を展望する視座を得ます。

担当教員 | 横井謙斗

G ロボットと人工知能

ロボットや人工知能が日常生活に現れるようになりました。あなたの生活はどう変わっていくのでしょうか?便利になる部分、思ったほどの効果がない部分、様々に分かれていきます。これからどのような社会的問題が起こると思いますか? 社会や生活の今後を予測するためにも、技術の成り立ちを知り、また社会受容の歴史をふりかえてみましょう。

ここがポイント!

ロボットや人工知能と一緒に暮らしていくとはどういうことなのか、考えてみませんか?

担当教員 | 村上祐子

H 脳科学に学ぶ

脳はこころの源です。みなさんが見たり、聞いたり、感じたり、考えたりすることはすべて脳が作り出すこころの機能です。私は心理学者として、脳とこころ(行動)の関係について研究しています。本講義では、主に動物を研究対象として明らかになってきた脳とこころの関係について、記憶、愛情、依存、共感性などを中心に、最近の研究知見に基づいてお話します。

ここがポイント!

心理学的な観点から脳についての話をしますので、生物学の知識がなくても理解できます。理系科目は苦手という人でも大丈夫です。

担当教員 | 山田一夫

次の時代に必要なスキルを身につける。

情報関連科目／言語文化科目／体育関連科目／教職課程科目 | 一覧表

区分	科目名	単位数	必選別	標準開設年次				開設学科・専攻														
				1		2		3		4		服美	環共	表現	栄養	管理	児学	育支	初教	英コミ	心カ	教福
				前	後	前	後	前	後	前	後											
情報関連科目	児童学科	情報活用	[2]	必	○											○	○					
		データサイエンス基礎	[2]	選	○											○	○					
	初等教育学科	データサイエンス基礎	[2]	必	○													○				
	家政学部・栄養学部・人文学部	情報活用	[2]	選	○						○	○	○	○	○				○	○	○	
	データサイエンス基礎	[2]	選	○						○	○	○	○	○				○	○	○		
言語文化科目	英語ⅠA	[1]	必	○						○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	英語ⅠB	[1]	必	○						○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	英語ⅡA	[1]	必			○				○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	英語ⅡB	[1]	必			○				○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	英語上級A	[1]	選				○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	英語上級B	[1]	選					○		○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	語学研修A	4	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	語学研修B	4	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	語学研修C	4	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	語学研修D	14	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	語学研修E	14	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	語学研修F	30	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	ドイツ語初級	[2]	選	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツ語中級	[2]	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツ語上級	[2]	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語初級	[2]	選	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語中級	[2]	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語上級	[2]	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語初級	[2]	選	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語中級	[2]	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語上級	[2]	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コリア語初級	[2]	選	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コリア語中級	[2]	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コリア語上級	[2]	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	短期ドイツ語研修	[2]	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	短期フランス語研修	[2]	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	短期中国語研修	[2]	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	短期コリア語研修	[2]	選				◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本のことばと文化ⅠA	[2]	必	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本のことばと文化ⅠB	[2]	必	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本のことばと文化ⅡA	[2]	必			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本のことばと文化ⅡB	[2]	必			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
体育関連科目	体育と健康	1	選			◇				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	からだとスポーツA	(1)	選	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	からだとスポーツB	(1)	選		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	自然とスポーツA	(1)	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	自然とスポーツB	(1)	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教職課程科目	教育原論	2	選			○									○	○						
	教育心理学	2	選		○										○	○						
	教育原論	2	選		○												○					
	教職基礎論	1	選	○														○				
	教育心理学	2	選		○														○			
	教育制度論	2	選				○												○			
	教育原論	2	選		○					○	○	○	○	○	○				○	○	○	
	教職基礎論	1	選		○					○	○	○	○	○	○				○	○	○	
	教育心理学	2	選		○					○	○	○	○	○	○				○	○	○	
教育制度論	2	選				○			○	○	○	○	○	○				○	○	○		

履修の詳細については学生便覧、時間割表などで確認してください。

情報関連科目

注意



学部・学科によって履修できる情報関連科目が異なります。
下の表より、自身の所属学科が履修できる科目を確認し履修登録(または受講希望申請)を行ってください。

児童学科

児童学科の学生は「**情報活用**」を履修します。
「情報活用」の履修に加えて、データサイエンス基礎の履修を希望する学生は受講希望申請を行ってください。

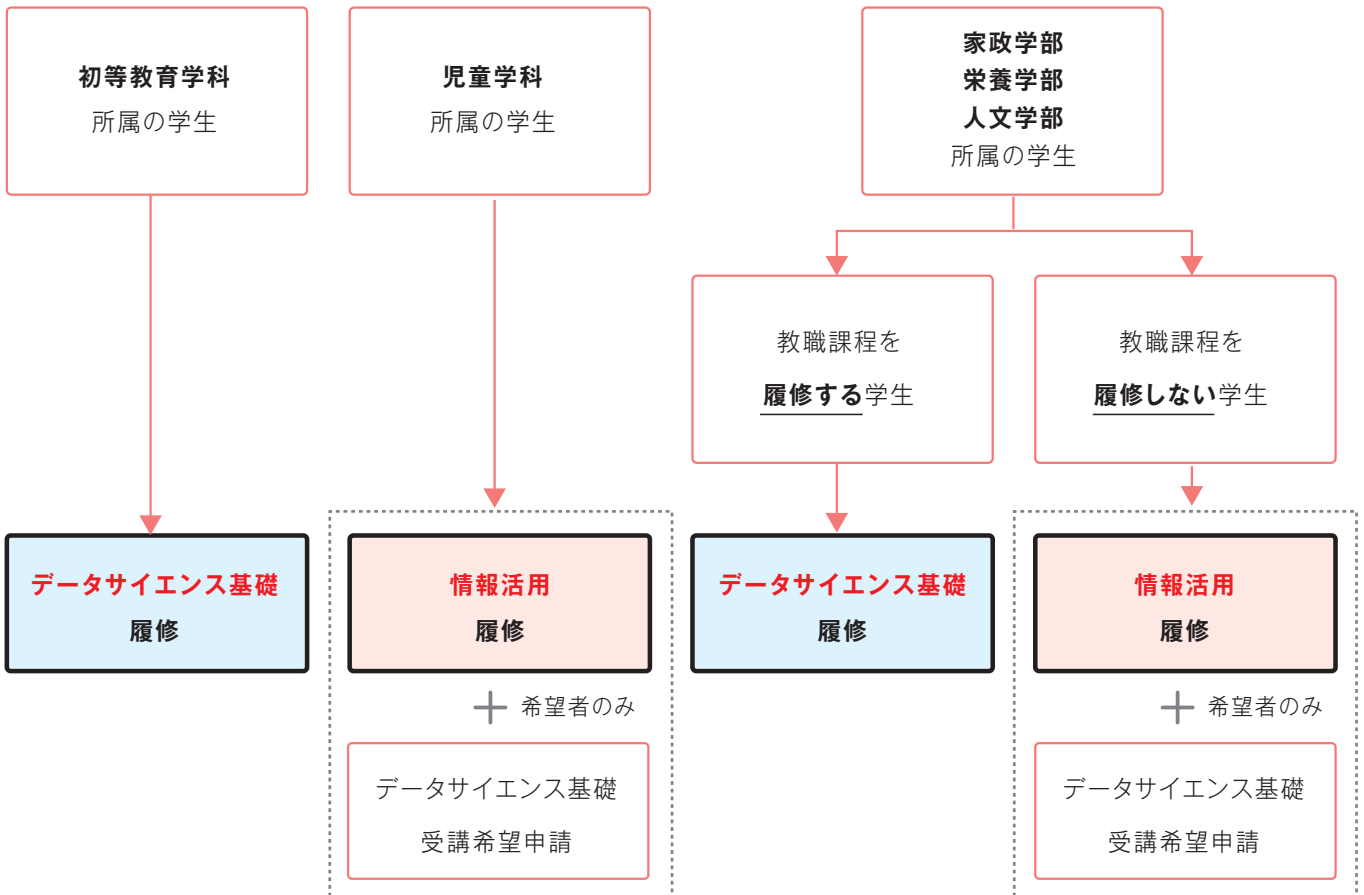
初等教育学科

初等教育学科の学生は「**データサイエンス基礎**」を履修します。
「情報活用」は履修できません。

家政学部・栄養学部・人文学部

教職課程を履修する学生は、「**データサイエンス基礎**」を履修します。
「情報活用」の履修はできませんのでご注意ください。
教職課程を履修しない学生は、「**情報活用**」を履修します。
「情報活用」の履修に加えて、データサイエンス基礎の履修を希望する学生は受講希望申請を行ってください。

履修早見表 ※ は卒業必修科目



講義名 ▶ 情報活用 ★ 幼教必(児童学科) 保育士必(児童学科) 卒業必修科目

この科目ではこれからの情報を基盤とした社会において必要となる情報活用力を身につけることを目的とします。具体的には、他者とのコミュニケーションを有意義なものにするための情報デザイン力とデータから新たな知見を得るためのデータサイエンスの学修に必要な基本スキルを演習により身につけます。

情報活用力		
情報デザイン力		データサイエンスの基本スキル
Word	PowerPoint	Excel

ここがポイント!

Society 5.0の社会で活躍するために必要なPC操作スキル、情報モラル、データサイエンスの基礎などを学びます。

講義名 ▶ データサイエンス基礎 ★ 教必(児童学科以外) 卒業必修科目

社会で活用されているAI・データサイエンスについての知識を深め、自らデータを扱う能力を身につけます。この科目は教必となっている学生以外の履修者数に制限があります。

ここがポイント!

- 東京家政大学初のキャンパス横断科目。板橋・狭山の両キャンパスの学生が履修可能なフル・オンデマンド形式のメディア授業です。自分のペースで学ぶことができます。
- すべての学部・学科の学生が学びやすい内容になっています。初心者でも安心して取り組むことができます。
- 文部科学省「数理・データサイエンス・AI認定プログラム(MDASH リテラシーレベル)」認定科目。
- プログラム修了(「データサイエンス基礎」の単位修得)により、最新のデジタル証明技術を用いたオープンバッジを利用して本学認定の「修了証書」を発行。就職活動に役立てることができます。

履修登録方法

注意

通常の科目とは履修登録の仕方が大きく異なります。教必ではない学生は、下記の手順で受講の希望申請から始めてください。対象学年は令和6年度入学の1年生のみとなります。

- ① 受講希望申請 東京家政大学ポータルで別途案内する手順に従ってください。「データサイエンス基礎」の受講を希望する場合は、申請期間(4月19日～5月12日)内にGoogleフォームにて受講希望申請を行ってください。
※Googleフォームによる受講希望申請に関する連絡はポータルにて行いますのでご注意ください。
- ② 履修確定 「データサイエンス基礎」の履修確定に関する連絡は、5月末までに共通教育推進部から届きます。このときに履修登録は自動的にされますので、受講生は履修登録の手続きが不要となります。
※受講希望者多数の場合は、抽選により受講者が確定されます。
- ③ 授業開講 「データサイエンス基礎」は8月頃(2週間程度)に集中講義として実施されます。全14回の講義はオンデマンド配信されますので、受講生はすべての動画を視聴し各回の課題を期間中に提出してください。

単位の取り扱い

「データサイエンス基礎(選択科目・2単位)」は、教必の方は共通教育科目の「情報関連科目」として、それ以外の方は「情報活用(必修科目)」の履修に加えて履修することができます。

修得した単位は「共通教育科目」の単位として卒業単位に含まれます。

プログラム詳細はHPをご確認ください。

また、ご不明点はjyoho-jimu@tokyo-kasei.ac.jpへお問い合わせください。

URL : https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/educational_info/mdack.html



言語文化科目

講義名 ▶ 英語Ⅰ A・B ★ / 英語Ⅱ A・B ★ / 英語上級 A・B / 語学研修 A・B・C・D・E・F /
ドイツ語初級・中級・上級 / フランス語初級・中級・上級 / 中国語初級・中級・上級 / コリア語初級・中級・上級 /
短期ドイツ語・フランス語・中国語・コリア語研修 / 日本のことばと文化Ⅰ A・B / 日本のことばと文化Ⅱ A・B

コミュニケーションは不可欠であり、社会活動を円滑に行うにはその能力が強く求められます。特にグローバル社会においては、誰もが有る程度の英語力と多様性に対応できる力を身につける必要があります。また、言語を通して文化を学ぶことができるよう、英語以外にも外国語科目を用意しています。アジア圏の言語やヨーロッパの言語も学ぶことで、それぞれの文化の違いや考え方の違い、共通点を探してみましよう。

「語学研修 A・B・C・D・E・F」「短期ドイツ語・フランス語・中国語・コリア語研修」はグローバル教育センターの主催する語学研修に対応した科目となっています。研修先で外国語によるコミュニケーションの実践的な力を養います。

「日本のことばと文化」は留学生の必修科目です。

ここがポイント!

グローバル社会を生き抜くために、国際共通語である英語の運用能力を向上させましよう。英語以外の言語も選択科目として学ぶことができます。

英語関連科目

- 英語ⅠA
英語ⅠB
(必修)** 英語コミュニケーション能力と、グローバル社会において柔軟に対応する姿勢を身につけます。特に、話す(発信)・読む(受信)のスキルをバランスよく学びます。
- 英語ⅡA
英語ⅡB
(必修)** 英語コミュニケーション能力と、グローバル社会において柔軟に対応する姿勢を身につけます。特に、書く(発信)・聞く(受信)のスキルをバランスよく学びます。
- 英語上級
A・B
(選択)** 英語ⅠA・ⅡA、ⅠB・ⅡBで習得したコミュニケーションの能力を用いて、情報収集力を向上させ、自分の意見を発信する力をさらに高めていきます。

その他の外国語

英語の他に選択科目として4つの外国語科目があります。

- 初級
(選択)** コミュニケーションツールとして用いることができるように、基礎を習得します。あわせて文化・社会・歴史への関心を高めます。
- 中級
(選択)** 「初級」で習得したことをより深め、様々なトピックについて簡単なやりとりができる力を身につけます。また、文化・社会・歴史への理解をより深めます。
- 上級
(選択)** 「初級」「中級」で習得したコミュニケーション力を高めるために、より発展的な学習を通し、様々なトピックについてディスカッションができる力を身につけます。

体育関連科目

講義名 ▶ 体育と健康 ★／からだとスポーツA・B ★／自然とスポーツA・B

講義科目として「体育と健康」、実技実習科目として「からだとスポーツA・B」、「自然とスポーツA・B」で構成されています。これらの科目は生涯にわたって皆さんがスポーツや運動を有意義な形で日常生活に取り入れ、健康で豊かな人生を送るための知識と方法を習得することを大きな目標としています。

具体的な目標

- 1 体力を維持増進し、健康を管理する習慣を獲得するために必要な知識や態度を学びます
- 2 運動やスポーツの楽しさを再確認し、身体や心への効果を実感します
- 3 充実した大学生活を送るために社会的な規範を学び、学生同士あるいは教員との円滑なコミュニケーション力を形成します

ここがポイント! 運動が得意な人もそうでない人も、自分なりに楽しく体を動かす授業。友達も増えます。思い切り体を動かして、心も体もスッキリ!

講義科目

体育と健康
(選択)

教選必 保育士必 生涯を通じて活力あるライフスタイルを形成するための理論と実践方法を学び、自分に合った心身の健康習慣を身につけます。

実技実習科目

からだ
と
スポーツ
A・B
(選択)

教選必 保育士選必 運動能力や体力で評価しないので、苦手な人も安心して運動・スポーツに取り組めます。楽しみながら自己の健康を管理します。ボールゲームス、テニス、バドミントン、卓球、シェイプアップ、ボディコンディショニング等

自然と
スポーツ
A・B
(選択)

自然環境を利用したアウトドアスポーツを取り上げ、集中実習形式にすることで学内では経験できない内容を展開します。キャンプ、スクーバダイビング、またはスノーケリング スキー・スノーボード等

※体育関連科目は教職課程履修者と保育士課程履修者には選択必修科目(合計2単位)となっており、「体育と健康」「からだとスポーツA・B」が該当科目となっています。

※「自然とスポーツA・B」は定員があり、希望をしても抽選になることがあるため、履修できないことがあります。1年次の12月に事前参加予約登録会がありますので、希望者は必ず出席しましょう。

教職課程科目

講義名 ▶ 教育原論 ★／教職基礎論 ★／教育心理学 ★／教育制度論 ★

教育職員免許状の取得にかかわる科目のうち「教育原論」「教職基礎論」「教育心理学」「教育制度論」の4科目を共通教育科目としています。教職を志望する方は1年次に教職課程の履修登録をしたうえで、教職課程の基礎的な科目として位置づけられるこれらの科目を必ず履修していただき、あなたの教師としての適性をみる機会としてください。

本学では、子どもに対する深い愛情と教職に対する情熱とともに、豊かな感性、高い見識および卓越した指導力・実践力を有する教師の養成を目指しています。そうした教師を目指して一歩ずつ着実に取り組んでいきましょう。

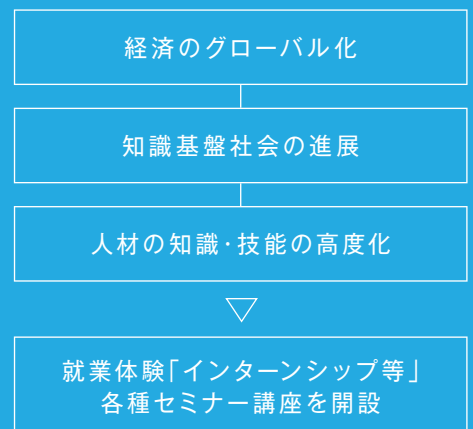


ここがポイント! 教職課程の単位としても共通教育科目の単位としても数えることができます。あなたの教師としての適性をみる機会としてください。

自分を知り、社会を知り、 共感型リーダーシップを 身につける。

共通教育科目のコア科目においては、建学の精神「自主自律」、生活信条「愛情・勤勉・聡明」について考え、大学でどう学び・社会でどう活かすのかを学んでいきます。そして、それらの学びと並行して、より実践的に社会で楽しく生き抜いていくための人間力を身につけていくことが人間力育成実践科目の目的となります。

「キャリア形成支援講座」では、学生が自分の将来像と社会・職業の関係を学び、自らの志を持って進むべき道を決かなものにし、その為の資質・能力を備えることを目指します。この目的のために、実際に就業を体験する「インターンシップ等」、その為の準備段階としての各種セミナー、一般常識等基礎能力を高める各種講座を開設しています。「実践力養成セミナー A・B」では、これからの社会において、とても重要となる共感型リーダーシップを身につけることで人間力の向上を計っていくことを目的としています。Aでは、レクリエーションをとおして、Bでは、合意形成を行っていく方法により養成していきます。



人間力育成 実践科目 ≫ ≫ ≫ キャリア形成支援講座 | 単位取得方法

キャリア支援課では、みなさんが将来、希望する進路にすすめるよう年間を通してセミナー・講座を実施していますので、ぜひ受講してください。「キャリア形成支援講座」のポイント対象となるセミナー・講座を受講し、条件を満たし報告書を提出してポイントをためることにより単位を取得することができます。

01

講座を
選ぶ

キャリア形成支援講座のポイントとなるセミナー・講座を選ぶ
複数のセミナー・講座の受講が可能



02

受講

セミナー・講座を受講する

セミナー・講座後のアンケートの回答をもって出席確認とする。
その為、キャリア形成支援講座のポイント認定希望者は確実に回答すること。
※インターンシップ等、論作文対策講座については、別途条件あり。



03

報告書

セミナー・講座最終日後、指定期間内に報告書を受け取る



04

報告書
提出

提出期限までに報告書を提出する

出席回数等の条件を満たしていることが確認できた者が、報告書を提出できる。
必ず各講座の指定する締切日までに提出すること。締切日を過ぎての受け付けはできません。
(キャリア支援課窓口へ)



05

履修
登録

15ポイント獲得後、原則として翌年に履修登録する

科目名：キャリア形成支援講座



06

単位
取得

2単位が得られる

成績は合否で判定

注意
事項
!

●履修登録は15ポイント獲得後!!

単位認定を受けられるのは1度のみです。

1～3年生までに通算15ポイントを獲得すると、翌年、履修登録手続にて2単位が得られます。

4年生ではポイントは得られません。

※授業・実習等により講座に出席できない場合は、必ず事前に申し出てください。

人間力育成 実践科目 ▶▶▶ キャリア形成支援講座

コア科目

人間教育 基礎科目

人間教育 演習科目

情報関連科目・言語文化科目・体育関連科目・教職課程科目

人間力育成 実践科目

人間力育成 実践科目(自主講座)

	1年次	2年次
目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学生活への定着を図る ● 大学での「学び」がどのように生き方に繋がるのかを考える ● 「学び」の土台であり、これからの就職活動に繋がる基礎学力の強化を図る ● 目的、目標を持った大学生活が、就活や今後の人生を生き抜く力となることを認識する ● コミュニケーションの基本について理解する ● 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性が働くこと、仕事を持って生きていくことの意義を考える ● 将来の目標を踏まえ、必要に応じて大学生活のあり方を修正する ● 自分の就きたい職業および企業が求める人材を知る ● 自分の適職について考えるにあたり、自己理解、採用されるための表現方法について考える ● 社会人としてのマナーを身に付ける ● 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める ● 早期選考に備えた対策をする
キャリアセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ① 大学生活スタート ～毎日を20倍楽しくする方法～ ② ワタシ発見 ～本当の自分を知ろう～ ③ シゴト理解 ～業界・職種の視野を広げよう!～ ④ 先輩のキャリアデザイン ～何よりもタメになる内定者体験談～ ⑤ インターンシップ報告会 ～みんなが参加する理由～ ⑥ 就活先取り! 書類・面接対策 ～早すぎる"対策はない"～ <p>▶ 5回以上参加、報告書提出で5ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① ミライ設計 ～イマを知る!ミライが見える!～ ② ワタシ発見 ～本当の自分を知ろう～ ③ シゴト理解 ～業界・職種の視野を広げよう!～ ④ 先輩のキャリアデザイン ～何よりもタメになる内定者体験談～ ⑤ インターンシップ報告会 ～みんなが参加する理由～ ⑥ 就活先取り! 書類・面接対策 ～早すぎる"対策はない"～ <p>▶ 5回以上参加、報告書提出で5ポイント</p>
基礎力養成講座	<ul style="list-style-type: none"> ① 論作文対策講座 <ul style="list-style-type: none"> 【対象】大1・大2 【内容】論作文を作成し文章力及び論理性を養う。全3回(講演・演習・課題提出) ② 非言語対策講座 <ul style="list-style-type: none"> 【対象】大1・大2・大3 【内容】就職採用選考の筆記試験対策として、非言語分野が苦手な方、短時間で簡単に解くコツを習得したい方、問題の形式に慣れたい方にお勧め。四則演算、分数、小数、%の計算・比の計算、食塩水の濃度算、二重の割合、表の読み取り、損益計算、分割払い・清算、仕事算・速度算、場合の数、確率、集合、対偶・帰納法・演繹法・仮説 等、非言語(算数・数学系)を基礎からしっかり学ぶ。全12講座 <p>▶ 全3回参加、課題60点以上、報告書提出で2ポイント</p>	
インターンシップ等	<p>【インターンシップ等とは】 学生が在学中に、企業などにおいて自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。</p> <p>【インターンシップ等の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 社会のしくみを理解する ② 働くイメージを持つ ③ 自分の強みと課題を明確にする ④ 就業体験を通じて、大学での学びの重要性を知る 	
	<p>STEP 1</p> <p>事前指導</p> <p>【全体講義】【実践】それぞれ1回ずつ参加する。 【全体講義】manabaで動画を視聴し、レポート(A4で1枚)を提出。 【実践】事前予約制。複数日開催。先着順。</p>	<p>STEP 2</p> <p>実習願い提出</p>

※ インターンシップ等についての詳細は、インターンシップガイダンスに参加し確認してください。

※ 掲載されているセミナー・講座内容は2024年度のもので、内容は年度毎に変更する場合があります。

3年次

- 就職活動の流れを理解する
- 社会人に求められ、採用試験に必要な基本的マナーを理解する
- 志望業界・職種などを選択するための各種情報を収集する
- 採用試験で自己をアピールできる準備をする
- 企業の採用情報を収集する
- 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める

4年次

- 学生自身の準備段階に応じた支援を活用し、内定を獲得する

就職セミナー

- ① 就活スタート
～内定をゴールにしない就職活動の進め方～
- ② 自己分析
～徹底的に自分と向き合い自分の幸せを考えよう～
- ③ 自己PR・ガクチカ
～通る書類と通らない書類のちがいを～
- ④ 業界・職種・企業研究
～自分に合った仕事はなにに?～
- ⑤ 志望動機
～志望動機はコピペできません!!～
- ⑥ GD対策
～通過する秘訣とは?～

5回以上参加、
報告書提出で
5ポイント

8回以上参加、報告書提出で6ポイント

※非言語対策講座でのポイント獲得は1回のみ。
受講は何度でも可。

STEP 3

インターンシップ等実習参加

5日間以上及び合計35時間相当以上
※実習中は毎日「実習日誌」を書き、担当者に確認してもらう。

STEP 4

事後プログラムへの参加

実習を経て学んだことを、学生間で共有し振り返りを行う。

STEP 5

実習日誌・報告書提出

事後プログラムで配付する報告書を記入の上、提出

▶ 上記 STEP 1～STEP 5を行うことで15ポイント。

単位認定を受けられるのは1度のみです。

1～3年生までに通算15ポイントを獲得すると、翌年、履修登録手続きにて2単位が得られます。

4年生ではポイントは得られません。

人間力育成 実践科目 ≫≫≫ 実践力養成セミナー A (レクリエーション・リーダー養成)

この授業は、「楽しさを体験する」時間と「楽しさを組み立てる」時間で構成されています。まず参加者として様々なレクリエーション種目の楽しさを体験しましょう。次に、その楽しさをふりかえりながら構造を理解し、指導者の立場から組み立てて相手に贈る方法を学びましょう。この授業は、教員(幼小中高栄養養護)を目指している人、こどもたち、お年寄り、ハンデのある方を対象としたボランティアに参加する人には特にヒントになるプログラムです。なお、この科目の単位はCAP制の対象外です。

☆1 授業日程および履修上限

第1期:9月4日(水)~6日(金) 90名
第2期:9月9日(月)~11日(水) 90名
*3日間で14回授業相当分を展開します。

担当教員 | 木村博人・北原澄高・布施梓(1期のみ)・伊藤相(2期のみ)

☆2 履修者の決定について

抽選科目ではないため、履修登録後に高学年優先で180名に受講人数を制限します。1,2期へ振分けて履修者名簿を5月第2週以降に発表する予定です。その名簿にて履修の可否を確認してください。また、受講期ですが必修の実習や集中授業と重なる場合は体育学研究室木村のところまで相談にきてください。

授業計画			授業の到達目標	
1日	2日	3日		
1	楽しさを体験する アイスブレイクゲーム	楽しさを体験する ニュースポーツ	楽しさを体験する ウォークラリー1	<ol style="list-style-type: none"> 様々なレクリエーション種目の楽しさを体験する。 レク支援の仕組みを学ぶ。 レク種目の指導方法を学ぶ。
2	楽しさを組み立てる アイスブレイクの仕組み	楽しさを組み立てる ニュースポーツの理念	楽しさを体験する ウォークラリー2	
3	楽しさを体験する GWT※	楽しさを体験する クラフト工作	楽しさを組み立てる ウォークラリー振り返り	
4	楽しさを組み立てる GWTの振り返りと仕組み	楽しさを組み立てる クラフトの楽しさを理解する	各レク財(種目)の振り返り レクリーダーの視点	
5	アイスブレイクゲームと GWTの振り返りとまとめ	ニュースポーツ、クラフト の振り返りとまとめ	振り返りノートの作成	

※グループワークトレーニング

人間力育成 実践科目 ≫≫≫ 実践力養成セミナー B (ファシリテーター養成)

ファシリテーションとは、グループワークや意見交換が円滑に進むように舵取りをすることです。ファシリテーションによってメンバー間の相互作用を高め、ありがたい状態へ導くことが可能です。この授業ではファシリテーターに必要な基本スキル(アイスブレイキングの活用等)、問題解決の効果的な進め方、仲間の強みを引き出すポジティブなチームづくりを体験学習の形式で楽しく学びます。

チームづくりに興味がある人、教員をめざす人、企業で活躍したい人におすすめの授業です。

担当教員 | 松瀬理保

授業計画 (夏期休暇中の集中授業を予定しています) ※全14回(3日間実施)

1日	2日	3日	
1	ファシリテーションとは	ファシリテーションスキル① : 傾聴・承認・質問のスキル	ポジティブなチームづくり : 概論、導入事例の紹介
2	ワークショップ体験① GW: レゴを使うゲーム	ファシリテーションスキル② : 合意形成(拡散と収束)	ワークショップ体験① GW: ペア・インタビュー
3	ワークショップ体験② GW: 体を動かすペア演習	模擬ファシリテーション① GW: 問題解決を促進する	ワークショップ体験② GW: ストーリー共有、内省
4	ワークショップ体験③ GW: 意見を整理する	模擬ファシリテーション② GW: グラフィックを活用する	全体のふりかえり・まとめ
5	体験のふりかえり 「アイスブレイクの効果」	体験のふりかえり 「ファシリテーターの役割」	

※GW:グループワーク

授業の到達目標

- グループワークの効果的な進め方をゲーム形式で楽しく学ぶ。
- ファシリテーションの基本を理解し、問題解決を促進できる。
- みんなが主役になれるポジティブなチームづくりを学ぶ。

変化の激しい 時代を 生き抜くために。

変化の激しい、先行き不透明な21世紀社会を主体的に生き抜くためには、知識を臨機応変に組み替える能力や柔軟な問題解決能力、更には国際化・情報化によるコミュニケーション能力とメディアリテラシーの重要度が増します。一方では、規範的な意識の低下、行動の基準とそれを支える価値観の構築が課題となっています。「自主講座A・B」では、このような課題を抱える社会に対応すべく、所属する学科の専門性に限らず自身の興味関心を突破口に、専門以外の分野にも間口を広げ、総合的、横断的な知識や思考などを学んでいきます。また、協働して学ぶことにより、主体的な新しい人間関係の構築など、建学の精神「自主自律」を具現化する調和のとれた能力の育成を目指します。



01

活動
開始前

manabaのコースコンテンツに掲載されている「自主講座A」と「自主講座B」の当該年度の講座内容一覧を参照し、行動計画を立てる

- 卒業年度の12月までに活動を終了できるよう、計画を立ててください。
- 講座内容の詳細は、記載されている各学科・部署等の問合せ先に確認してください。

02

活動
終了後

報告書を作成する：ポイント判定の期日は活動した年度の12月中

学内で活動した場合

「自主講座A・B」報告書に会場の座席札、チケットの半券、受講票、修了証書など「自主講座A・B」を受講した証明となる資料を添付し、必要事項を記入の上、講座を開設している各学科・部署等よりポイント判定を受けてください(判定欄に記入・押印をいただいでください)。

学外で活動した場合

「自主講座A・B」報告書に必要事項を記入し、活動先より、指導者等記入欄への記入および押印をいただいた後、各学科・部署等よりポイント判定を受けてください(判定欄に記入・押印をいただいでください)。

03

報告書
提出

報告書、添付資料、ポイント確認表を所属学科の共通教育推進部運営委員に提出する

提出方法 1～7ポイント >>> データファイルまたは写真データをmanaba[レポート]の所属学科のところへアップロード
8ポイント >>> 書類の原本を全てまとめて提出

提出期間 活動した年度の1月中(後期授業終了日まで)

04

ポイント
確認

取得ポイントを再確認する

運営委員からのコメント(manaba[レポート]のコメント欄・個別指導コレクション)や原本提出により、自分の取得ポイント(当年度認定ポイント数及び累計ポイント数)を再度確認してください。

05

履修
登録

ポイント数により、各自で履修登録(所属学科)を行う

登録方法 >>> 大学1～3年生

8ポイント貯まった翌年度の履修登録期間に、各自Web履修登録をしてください。

※8ポイント貯まる前に履修登録をしないでください。(成績が不合格となります)

登録方法 >>> 大学4年生

卒業学年でポイントを満たそうとする場合のみ、履修登録期間に、各自Web履修登録をしてください。

※8ポイントを満たすことが見込めない場合、その年度に「自主講座A・B」履修登録をしないでください。(成績が不合格となります)

注意事項 誤って履修登録した場合でも、登録の削除はできません。

06

単位と
成績

単位・成績を確認する

単位 共通教育科目 1単位 (単位認定を受けられるのはA・Bそれぞれ1度のみです)

成績 成績は、『合格』と表記されます。ポイントを満たせなかった場合は、『否』と表記されます。

注意
事項



- 報告書や証明資料などの原本は、必要に応じて提出を求められる場合がありますので、卒業するまで各自大切に保管しておいてください。
 - 人数制限のある講座(例:テーブルマナー・観劇などの教養講座)は、各主催部署において、別途参加申込が必要となります。
 - 授業を欠席しての活動は認められません。
 - 全学年が学生教育研究賠償責任保険に加入しています。(入学時にしおりを配布)
- 「自主講座A・B」としてボランティア活動を行う場合、国内の活動に限り上記の保険が適用されます。**
- 講座内容(中止含む)や「自主講座A・B 報告書」等の提出方法については、その年度の社会情勢や大学の方針により変更になることがあります。manaba等で公開されている最新の情報を各自確認してください。



まずは、「manaba」にログインしましょう。

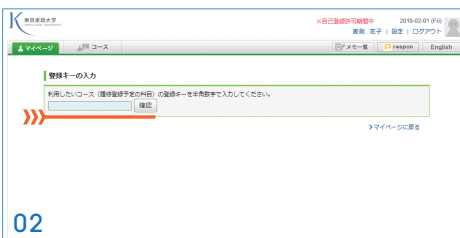
※左画像内のオレンジ線部をご確認ください



01

登録キーを使用して、科目を登録します。

- 01 マイページから「登録キーを用いて登録」をクリックします。
- 02 登録キー「1579008」を入力します。
- 03 **コース名: 共通教育科目「自主講座A・B」**を確認し、間違いなければ「登録」をクリックします。



02

マイページから **コーストップページへ**

- 04 ログイン後、マイページのコース一覧からコース名: 共通教育科目「自主講座A・B」をクリックするとコースのトップページが表示されます。
- 05 「コースコンテンツ」、「報告書・ポイント確認表」の順にクリックすると、「自主講座A・B 報告書」(Wordファイル)、「自主講座A・B ポイント確認表」(Excelファイル)がありますので、ダウンロードして使用してください。



03

ログアウト

- 06 マイページ上部右上の「ログアウト」をクリックします。

※共同で利用するパソコンを使う場合は、ログアウトを徹底して下さい。ID・パスワードが悪用される恐れがあります。また友人であってもトラブル防止のためID・パスワードの貸し借りはしないでください。

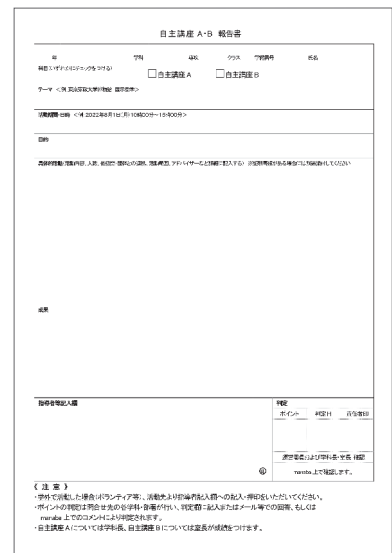


04

**「自主講座A・B 報告書」
(サンプル)**



05





発行年	2024年4月
編集・発行	東京家政大学 共通教育推進部
構成	造形表現学科 手嶋 尚人
デザイン	株式会社 猪股企画事務所
印刷製本	上毛印刷株式会社
